

1 「読むこと」領域における資質・能力の系統

| | | | | | |
|-----|--|---|--|------|--|
| 小学校 | 第1学年及び第2学年 | 第3学年及び第4学年 | 第5学年及び第6学年 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 文章の中の重要な語句や文を考えて選びだすこと。 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 | <ul style="list-style-type: none"> 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと一緒に結び付けて具体的に想像すること。 | <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 | | |
| 中学校 | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 | 高等学校 | <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。 | <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。 | <ul style="list-style-type: none"> 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。 | | |

2 単元目標

「モアイは語る—地球の未来—」の文章を読んで理解したことや考えたことを同じ題材を取り扱った異校種の説明文と読み比べることで、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。

3 生徒の実態と指導観

《生徒の実態》

全体的に学習に真面目に取り組んでいる。ただ、読解力や言語に関する知識・理解が弱い生徒が多い。語彙の力が弱く、一つひとつの言葉の意味を認識し、他の言葉、文とのつながりや論理的に思考することが苦手な生徒が多い。また、そのことが、表現力にも及び、論理立てた文章が書きづらく、話しぶり面がある。さらに、表現力に自信がないせい自分自身の考えをもち、伝えるということに消極的である。また、学力の二極化も大きい。

これまでの説明的な文章の学習を想起させながら、複数の文章を読ませ、文章の特徴について根拠をもって考えを述べさせたい。

《指導観》

本単元では、複数の文章を読み比べることで、文章の特徴についての自分の意見を裏付ける、より適切な根拠を明確にもたせることを目標としている。

まず、これまでの説明的な文章の学習で身に付けた読みの視点を生かしながら読み進めさせる。その際、生徒自身が挙げた視点で内容を押さえていく。

次に、生徒自身が決めた観点を比較させる。その際、気付いたことを書き込んだ全文シートを活用し、並べてみることで、同じことについて述べている部分の表現の違いや構成の違いなどを見付けさせる。それらの違いが、文章全体の特徴にどのように関わっているか、筆者の考えとの関わりを中心に捉えさせる。

これまでの学習を通して考えたことを交流させ、説明的な文章の読みを深めるためのプロセスを共有させる。

また、説明文の読解方法と理科の実験の手順を重ねて説明していくことで、課題のある生徒にもイメージさせやすいように工夫したい。さらに、「小学校の教科書と比べる」「高校の教科書と比べる」の2つを選択できるようにすることで難易度を変え、幅広い生徒に意欲を持って取り組ませたいと考える。

4 単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て内容を解釈している。 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 | <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て内容を解釈しようとしている。 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えようとしている。 |

5 国語的な見方・考え方

言葉による見方・考え方 文章の構成や論理の展開、表現の効果について着目し、複数の文章を比較しながら読むことで、それらの特徴が文章全体の特徴にどのように関わっているのかを考える。

6 目指す子供の姿

これまでに学習したことを基にして、同じ題材を扱った説明文について文章の構成や展開、表現に着目して読み比べることで、筆者がなぜそのような構成にしたのか、論理の展開に飛躍がないのか、表現が文章の内容を伝えたり印象付けたりする上で、どのように働いているのかということなどについて自分なりの考えを持っている。

7 単元計画

| 時数 | 付けたい力 | 主な学習活動 | 留意したいこと |
|-------------|---|---|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て内容を解釈する力。 | <ul style="list-style-type: none"> ○本文の内容を大まかに捉えるために説明文を読むときのポイントを整理する。 ○学習の見直しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・同じ内容を扱った説明的な文章を読み、それぞれが小、中、高で読まれるのはなぜか、文章の特徴を根拠にして自分なりの答えをまとめる。(単元のゴール) ○「モアイは語る—地球の未来—」を読む。 ○構成を捉える。 ※語句調べは家庭学習で行っておく。 めあて「これまでの学びを生かして『モアイは語る』を読む」 まとめ「生徒に気づきを挙げさせ、それについて視点を整理する」例えば、(内容)(構成)(表現)(筆者の意図)など | <ul style="list-style-type: none"> ◇一人一冊辞書をもつ(その都度、意味を確認しながら学習を進める) ◇3種類の説明文の全文シートを準備 ◇既習事項の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・序論、本論、結論 ・問い—答え ・接続詞 ・文末表現 など |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て内容を解釈する力。 | <ul style="list-style-type: none"> ○読み比べの前に観点を決める。(3つ程度) <ul style="list-style-type: none"> ・構成の違い(→結論のつながり) ・使っている語句の違い(→結論のつながり) ・題名の違い(→結論のつながり) など ○自分が比べたい説明文を決める。 ○読み比べをしていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分が決めた観点で読み進め、全文シートに線を引いたり書き込みをしたりしながら読む。 めあて「自分が決めた観点で読み、違いを見付けよう」 まとめ「()の観点で読むと、【 】という違いが見つかった」 <ul style="list-style-type: none"> 例・構成の観点で読むと、中学校は、本論を構成する問いと答えが全てモアイと関連しているが、小学校は、モアイについては5つの段落だけで述べられているという違いが見つかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ◇理科の仮説をイメージ ◇全文シート ◇各自が予想する視点 |
| 3 ・ 4 | <ul style="list-style-type: none"> 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考える力。 | <ul style="list-style-type: none"> ○自分の観点を決め、違いを確かめて特徴をまとめる。 ・全文シートに気づきを書き込む。・読み比べて気付いた事をノートに書き込む。(表、付箋、図や絵にするなど各自で工夫) ○結論とのつながりを考えて、効果をまとめる。 めあて「同じ題材を取り扱った説明的な文章を読み、それぞれの違いを見つけよう」 まとめ「○○と△△は、()が違う。それは、【 】という筆者の考えにつながるからだ。」 <ul style="list-style-type: none"> (例)・「中学校は、本論を構成する問いと答えが全てモアイと関連しているが、小学校は、モアイについては5つの段落だけで述べられているという違いが見つかった。それは中学校では、モアイが森を奪っていった歴史を強調し、資源を浪費する現代との共通点を読み手に示し、人類の滅亡への強い危機感を伝えるためという筆者の考えにつながるからだ」 | <ul style="list-style-type: none"> ◇全文シート・ノート ・結論の違い まとめ <ul style="list-style-type: none"> ①どのように読むか。 ②どのようなことがわかったか。 自由に気づきをまとめさせる。 |
| 5 本時 | <ul style="list-style-type: none"> 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考える力。 | <ul style="list-style-type: none"> ○交流する。 ・校種を分けて交流する(小—中、中—高) ・前時でまとめた、問いの答えを発表する ・新たに気づいたことをメモする。 めあて「自分の答え(「問い」に対する「答え」と、その根拠)について確認したり、さらに付け加えたりしよう。」 まとめ「 」 <ul style="list-style-type: none"> (例) 中学校の文章は、モアイに絞って時系列で論理を展開し、イースター島の人類の滅亡の歴史と同じ道を地球がたどるということを示唆する書き方をしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ◇意図的なグループ分けが必要 ◇友達の見解や考えを工夫してノートに書く。 まとめ <ul style="list-style-type: none"> ①読み比べて気付いたこと ②友達の見解を聞いて気づいたこと |
| 6 | <ul style="list-style-type: none"> 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考える力。 | <ul style="list-style-type: none"> ○交流を通して自分の意見を深め、まとめる。 ・「同じ内容を扱った説明的な文章を読み、それぞれが小、中、高で読まれるのはなぜか、文章の特徴を根拠にして自分なりの答えをまとめる(単元のゴール)」 めあて「同じ内容を扱った説明的な文章を、それぞれ小、中、高で読まれるのはなぜだろうか」 まとめ「題材は同じだが、()からだ」と考える。」 <ul style="list-style-type: none"> (例) 題材は同じだが、書き方が違うからだと考える。書き方が違うと考え方も変わるので、それぞれにあった読み方を学ぶことができる。例えば、中学校の文章はモアイ建造の歴史にのみ焦点を当てることで、資源を浪費する現代との共通点を浮き彫りにし、地球の未来について思いを巡らすことを筆者は求めていることがうかがえる。一方、小学校の文章は森の消滅に至った過程を二つの調査結果から紐解き、今の時代が子孫のことをあまり考えていないことへの啓発をしている文章になっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ◇単元の目標に対する振り返り |